



NEWSLETTER

岡山大学 ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

2018.9

Index

- ワークライフ・ファミリーサポート室のご紹介 / 平成30年度のわらふさサロン 開催日 1
- 第IV期ウーマン・テニュー・トラック(WTT)教員2名テニュー取得 2
- 次世代直系女子のための取組み 3
- ベビーシッター利用料の一部補助 / Recipe / 新男女共同参画室員ご挨拶 / 編集後記 4

ベビーシッター派遣事業割引券

本学では、育児期の教職員への支援としてベビーシッター利用料の一部補助の制度を実施しております。ぜひお気軽にご活用下さい。

利用期間 2018年7月2日～2019年3月31日

対象者 本学と雇用関係があり社会保険に加入している教職員(男女問わず利用可)

対象児童 乳幼児～小学校3年生までの児童

利用条件 就労による平日・休日・時間外保育

利用条件 2,200円/1日

WEB <http://www.okayama-u-diversity.jp/life-eventsupport/babysitter/>



Recipe ヘルシーこんにやく丼

材料(約3人分)

- ・糸こんにやく 2袋(約400グラム)
- ・ごま 適量
- ・野菜等なんでもOK
(例) トマト 1個
- アボガド 1個
- オクラ 1個
- 大葉 適量
- ・お好みで半熟卵 3個

作り方

- ① 糸こんにやくを下ゆでした後、器に入れる
- ② お好みの野菜をのせる
- ③ お好みのドレッシングをかけて 出来上がり!



新男女共同参画室員のご挨拶

もとむら まさふみ
本村 昌文

大学院ヘルスシステム統合科学研究科 助教

しのはた りょうこ
篠畑 綾子

大学院保健学研究科 助教

さいとう みつよ
齋藤 光代

大学院環境生命科学研究科(環境) 助教

今年度から室員となりました本村と申します。専門は日本思想史、特に近年は江戸時代の老いや死についての考え方や意識、近代における「老年学」という学問の形成過程について研究をしています。また、10年ほど前から家族介護者の精神的な休息や情報交換のための場づくりをする活動を行っています。男女共同参画室の様々な取り組みに参加しつつ、家族介護者を支援する活動を通して得てきたものを少しでも還元できればと思っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



今年度より男女共同参画室の室員になり、事業推進部門を担当することになりました篠畑と申します。専門は臨床検査学で臨床検査技師を目指す学生の教育・研究を行っています。所属する保健学研究科は教員の約半数が女性で、様々なライフステージの方がいらっしやいます。多くの皆様にご意見をいただき、男女共同参画室の活動を通じて、男女ともに働きやすい職場環境づくりのお手伝いできればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



今年度から新たに室員を仰せつかりました齋藤と申します。昨年度まではWTT教員として活動しており、専門は水文地質学・生物地球化学・沿岸海洋学で、多様な水域における物質の輸送とその生態系影響について研究しています。一口に女性研究者・女性教員といっても、それぞれの置かれている状況は様々で、多様な支援の在り方が必要だと考えています。今後の男女共同参画の取組みに対して、微力ながら少しでもお役に立てればと考えております。

ワークライフ・ファミリーサポート室のご紹介

研究、キャリア形成、子育てなどの支援に関する情報提供をめざして、ネットワーク型の相談体制として平成29年度よりワークライフ・ファミリーサポート室が設置されています。同時に「わらふさサロン」と銘打って、気軽なんでも話し合える場として週1回男女共同参画室で昼食会を開催しています。このサロンには男女共同参画室の室員も参加しますので、日常感じておられる男女共同参画に対する要望などお話しただけると幸いです。なお、個人的な相談は以下のWEBサイト内にある「相談依頼フォーム」にて受け付けております。お気軽にご相談ください。



WEB <https://www.okayama-u-diversity.jp/work-life-family-support/counselling-network/>

平成30年度わらふさサロン開催日

わらふさサロン (Work Life Family Support Salon) は、気軽に相談をしたい方やコミュニティづくりの場として本学の教職員・学生であればどなたでもご参加いただけます。事前申込み等不要ですので、ご自由にご参加下さい。

10							2018
M	T	W	T	F	S	S	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

11							2018
M	T	W	T	F	S	S	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			

12							2018
M	T	W	T	F	S	S	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

1							2019
M	T	W	T	F	S	S	
1	2	3	4	5	6		
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

2							2019
M	T	W	T	F	S	S	
			1	2	3		
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28				

3							2019
M	T	W	T	F	S	S	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

日時 毎週水曜日
12:00～16:00
(入退室自由)

場所 津島地区
旧工学部21号館2階
ダイバーシティ
推進本部

編集後記

残念ながら、私たちは平日頃から、「ストレス」や場合によっては「悪意」に曝されています。これらを消化するには相当の時間と人格が必要かと思っております。結果として「毒を吐く」ことになるんだと思います。では、どうやって「毒を吐く」のが合理的でスマートか?飲んでくたを巻くという手もありますが、翌朝に猛烈な頭痛と後悔が襲いかかってきます。家族に「こんなロクでも無い奴が居て～」と話題(ネタ)の一つにしてしまうのも有効ですが、妻や子供の関係者が案外その「ロクでも無い奴」の近親者だったりします。「あの嫌味な野郎の口を塞いでやる!」と仕事にぶつける(論文を書きまくる)のもありですが、「嫌味な野郎」はどうしたって嫌味なので絶妙な視点でいちゃもんを投げかけてきます。で、「スポーツで発散」となりますが、準備運動だけで30分はかかります。男女共同参画室は何でも話せる場として「わらふさサロン」を毎週水曜日に開催しております。さすがに「毒」そのものを発射するわけには行かないと思いますが、ともに「毒」を吐ける相手を見つかる場として是非、ご利用下さい。

お問い合わせ

国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530
岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL: 086-251-7011 FAX: 086-251-7033
Email: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
<http://www.okayama-u-diversity.jp/>



第Ⅳ期WTT※教員2名テニユア教員へ (H30.4.1)

※ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 制は、女性若手研究者が5年間、自立した研究者としての経験を積み、テニユア教員の採用基準に達していると考えられた場合に、テニユア教員として採用される人事システム。

さいとう みつよ
齋藤 光代



所属 大学院環境生命科学研究所 (環境)

職名 助教

研究内容

沿岸域は河川水、地下水および海水の3種類の異なる水が流動・混合し複雑な物質循環を形成する場所です。私は、その中でも特にこれまであまり明らかにされていない地下水による海域への物質輸送とその生態系への影響に着目し、物理-生物地球化学的観点から研究を行っています。

WTT5年間を振り返って

このたび5年間のWTT教員期間を終え、平成30年4月よりテニユア教員として着任いたしました。まず、本期間中にお世話になったメンターの先生、周囲の先生方、研究室のメンバー、共同研究者の方々、および男女共同参画室の皆様方に深く感謝申し上げます。WTT教員期間は短いようで長くもあり、また、「女性」研究者として色々考えさせられた5年間でもありました。研究面では、メンターの先生をはじめとする多くの方々のご協力のもと、共同で新たなテーマに着手することができ、その過程で人脈も広がり、海外を対象とした研究プロジェクトに携わる機会も増えました。また、大学での講義や学内外での委員などの活動を通じて、大学教員の仕事についても少しずつ経験を積むことができました。今後は、自分がやれることを見極めつつ、引き続き研究、教育、およびその他の活動に邁進していきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ますだ じゅんこ
増田 潤子



所属 大学院ヘルスシステム統合科学研究科

職名 助教

研究内容

腸管の表層を覆う粘膜組織には多くの免疫細胞が存在しますが、腸管免疫細胞が粘膜と他組織間において何らかの作用があることは古くから示唆されてきました。そして近年になり行われた詳細な研究によって、炎症反応に伴って腸管に遊走される免疫細胞の解明が進みつつあります。私は癌形成によって腸管免疫細胞が受ける影響と変化について解明しています。

WTT5年間を振り返って

短いようで長いような5年間のWTTが終わりました。この5年間を振り返ると、研究や教育だけでなく、高校生に自分の研究を紹介したり、企業との共同研究を自分で交渉したりと、これまでになかった様々な経験をたくさんさせて頂きました。また、WTT教員の先生方とは定期的にお会いする機会をWTT教員同士で設けるほど仲がよく、お会いする度に良い刺激を受けています。こんな素晴らしい環境をあたえてくださり、温かくて頂いたたくさんの先生方、産学官連携機構、そして男女共同参画室の皆さまに本当に感謝でいっぱいです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



次世代理系女子のための取組み

中学生を対象に生命や自然を学ぶきっかけを作る目的でサイエンストーク&トライアルを実施しました。午前の部として「命について考える～理系・文系それぞれの立場から～」と題して、2人の先生の講演後、大学院生や教員が個別に自由にお話するフリートークを行い、中学生をはじめ同伴者の皆様も、熱心に講演を聞き、質問をされていました。また、午後からは「電子顕微鏡を使って生物を見てみよう」と「ウミホタルの蛍光を見る」の2つのテーマで実験を行い、自ら体験することで、自然科学の魅力を知る良い機会になったと思います。

おかやまサイエンス・トーク

**命について考える
～理系・文系それぞれの立場から～**

講師 御興 真穂
大学院自然科学研究所 (理) 助教
男女共同参画室員

梶田 玲
大学院ヘルスシステム統合科学研究科
第Ⅶ期WTT教員 (特任助教)

内容 命とは一体何か? 理系・文系での定義の違いそして、先生方がそれぞれの分野に進んだ経緯等をお話していただきました。

日程 2018年8月8日 (水)
10:00～11:00

会場 津島地区理学部
本館3階31講義室

参加者 21人



フリートークイベント

現役研究者や大学院生へ質問してみよう

内容 参加された中学生や保護者の方から、現役の研究者や大学院生に進路選択について、各学部の違いについて等様々な質問がありました。

日程 2018年8月8日 (水)
11:00～12:00

会場 津島地区理学部
本館3階31講義室

参加者 16人



おかやまサイエンス・トライアル

電子顕微鏡を使って生物を見てみよう

講師 根本 理子
大学院環境生命科学研究所 (農)
第Ⅵ期WTT教員 (特任助教)

内容 数十倍～数万倍に拡大して観察することができる電子顕微鏡を使って生物がつくる精密で美しい細胞構造を観察しました。

日程 2018年8月8日 (水)
13:00～14:00

会場 津島地区自然科学
研究所棟3階
電子顕微鏡室

参加者 10人



ウミホタルの蛍光を見る

講師 御興 真穂
大学院自然科学研究所 (理) 助教
男女共同参画室員

内容 夜の海に浮かぶ幻想的な青い光。ウミホタルの蛍光について実際に見て実験してみました。

日程 2018年8月8日 (水)
14:30～15:30

会場 津島地区
理学部本館3階
生物学学生実習室

参加者 18人



感想

- ・自分の知らなかったこともたくさんあり、とても充実したものとなりました。(中学3年生/女性)
- ・もともと理系に進みたいとは思っていましたが今回の体験で、その思いが大きくなり良かったです。(中学2年生/女性)
- ・今までにないような貴重な経験をさせていただいて、とても楽しかったです。有り難うございました。(中学2年生/女性)
- ・自分で体験・観察できたのが楽しかったです。トークも納得できる場所があり、また参加したいです。(中学2年生/女性)